



図3 玉虫型飛行器(復元模型)

ところが、八九年間に日清戦争が勃発し、忠八も兵

専念して開発に

玉虫型飛行器を完成させた(図3)。リリエンターが同様の装置の特許を取得する前年のことでした。



図4 ライトフライヤー(1903.12.17)

何事にも才能と熱意のあ

ライト兄弟に先行される

いて低位である自分の地位が障害になると判断し、自己資金で開発するとともに、世界に進出します。



図5 飛行神社(京都府八幡市)

発を断念するともに製薬会社の役員も辞任しますが、初期の飛行機の失敗などで

謝罪に来訪した

本報の取材に、ライト兄弟が自らの飛行機で飛来したという記事が掲載されました。



図6 長岡外史(1858-1933)

意の忠八は航空機の開発を断念するともに製薬会社の役員も辞任しますが、初期の飛行機の失敗などで

謝罪に来訪した

物語はここで終了させました。一九一九年に、悪意にしていた白川義則陸軍中将に日清戦争の最中に長岡外史参謀に叩下された上申の書類を紹介されたところ、軍部で内容が検討された結果、忠八のエンジンを使用することにより、機体の規模はほぼ同一であり、睡死した忠八は男泣きするともに製薬会社の中核をハナマデーで破壊しました。

6、全国各地で飛行機を普及するための講演をして、また、その機会に忠八の業績を紹介して、飛行機は忠八が先発していただけに、忠八から何れも上申があつたことは忠八から日清戦争の最中の経緯を紹介し、謝罪に来訪した。...

つぎお よしお 1942年名古屋生まれ。1965年東京大学工学部卒業。工学博士。名古屋大学教授、東京大学教授を経て東京大学名誉教授。2002、03年総務省総務審議官。これまでコンピュータグラフィックス、人工知能、仮想現実、メディアアーツなどを研究。全国各地でカヌーとクラシック、ライブキーをしながら、知床半島塾、羊蹄山山塾、釧路温泉塾、白馬山山塾、宮川清流塾、瀬戸内海塾などを主宰し、地域の有志とともに環境保護や地域計画に取り組み、主要著書に『日本百年の転換戦略』(講談社)、『縮小文明の展望』(東京大学出版会)、『地球共生(講談社)』、『地球の救い方』、『水の話』(遊行者)、『100年先を読む』(モラロジー研究所)、『先住民の報章(遊行者)』、『誰も言わなかった』(当は悪いビッグデータ)、『サイバー戦争のカラクリ』(アスコム)、日本が世界地図から消滅しないための戦略『致知出版社』、『幸福実感社会への転進』(モラロジー研究所)、『転換地』、『本地球創成の展望』(東京大学出版会)など。最新刊は『清々たる人生』(遊行者)。

月尾嘉男の本

清々たる人生

志を貫いた先人の姿

人工知能が一気に進歩し、将棋や囲碁では人間を敵敵らし、教育や医療でも一部では人間を代替しはじめています。しかし、想像することは人間が優位にあります。これら23人の人々が、清々たる意思を背後にして、どのように想像し、どのように行動したのか——(まえがきより)。

- ・ 権威に對抗した偉大な植物学者 牧野富太郎
- ・ 大学を創設し狂気の研究者でも高い 井上圓了
- ・ 生物環境の危機を世界に警告した R・カーソン
- ・ 日本の近代をデザインした 後藤新平
- ・ 時代の先頭を走った早熟の天才 寺山修司
- ・ 研究者でも実業家でも一流であった 高峰讓吉 他17人

本書で取り上げた人物

「清々しき人々」 待望の続編!

「清々しき人々」 待望の続編!

本書の内容

- 1 人間の生存に必須の物質
- 2 3 世界の歴史と地球
- 4 5 世界の歴史と地球
- 6 7 世界の歴史と地球
- 8 9 世界の歴史と地球
- 10 11 世界の歴史と地球
- 12 13 世界の歴史と地球
- 14 15 世界の歴史と地球
- 16 17 世界の歴史と地球
- 18 19 世界の歴史と地球
- 20 21 世界の歴史と地球
- 22 23 世界の歴史と地球

水の話 人類の必須の資源の物語

月尾 嘉男 水の話 人類の必須の資源の物語

四六判 196ページ 定価1,540円(税込)